

平成23年産 麦にかかる共済金の支払状況について

NOSA I岩手(鈴木長壽会長)では、このほど、平成23年産麦にかかる共済金の支払状況をとりまとめましたのでお知らせいたします。

1 共済金支払状況

県内191戸の被害農家に、68,093,042円の共済金を、12月19日までに各組合を通じて支払いました(表1参照)。

組合別の支払いでは、NOSA I盛岡の34,061,565円、NOSA I岩手中部の27,922,677円などとなっております(表2参照)。引受戸数に対する支払戸数の割合(戸数被害率)は、44.7%、引受面積に対する被害面積の割合(面積被害率)は、38.9%、共済金額(補償金額)に対する共済金の支払割合(金額被害率)は、8.7%となっております。

表1 平成23年産 麦 方式別共済金支払状況

方式	被害戸数(戸)	被害面積(a)	支払共済金(円)
一筆方式	89	19,074.3	10,851,199
半相殺農家単位方式	5	3,981.6	284,270
災害収入共済方式	97	124,994.4	56,957,573
合計	191	148,050.3	68,093,042

表2 平成23年産 麦 共済金の支払状況(組合別・方式別)

項目		被害戸数 (戸)	被害面積 (a)	支払共済金 (円)	備考 (組合区域内市町村)
盛岡地域	一筆方式	35	8,835.7	6,158,266	盛岡市、八幡平市、雫石町、 葛巻町、岩手町、滝沢村、 紫波町、矢巾町
	災害収入共済方式	48	45,015.5	27,903,299	
	組合計	83	53,851.2	34,061,565	
岩手中部	一筆方式	22	4,461.7	1,075,321	花巻市、北上市、西和賀町
	半相殺農家単位方式	2	1,968.3	83,172	
	災害収入共済方式	43	75,723.1	26,764,184	
	組合計	67	82,153.1	27,922,677	
胆江地域	一筆方式	6	793.6	353,142	奥州市、金ヶ崎町
	半相殺農家単位方式	3	2,013.3	201,098	
	災害収入共済方式	3	3,002.4	2,076,867	
	組合計	12	5,809.3	2,631,107	
磐井	一筆方式	9	2,838.6	2,271,222	一関市、平泉町
	組合計	9	2,838.6	2,271,222	
東南部	一筆方式	4	650.9	457,318	遠野市、釜石市、大船渡市、 陸前高田市、大槌町、住田 町
	災害収入共済方式	1	284.1	83,862	
	組合計	5	935.0	541,180	
岩手北部	一筆方式	13	1,493.8	535,930	二戸市、久慈市、軽米町、 洋野町、野田村、九戸村、 一戸町、普代村
	災害収入共済方式	2	969.3	129,361	
	組合計	15	2,463.1	665,291	
県計	一筆方式	89	19,074.3	10,851,199	
	半相殺農家単位方式	5	3,981.6	284,270	
	災害収入共済方式	97	124,994.4	56,957,573	
	合計	191	148,050.3	68,093,042	

宮古地域組合は被害なし

2 生育状況と被害概況

生育状況

本県における本年産麦の生育状況は、根雪期間が平年よりも長い地域が多く、融雪後の3～4月に低温が続いたことから、生育ステージは全般的に平年より5日前後の遅れが見られました。草丈は平年並み～やや短く、穂数は平年並み～やや少ないという傾向が見られ、一部の地域、品種では倒伏の見られた圃場がありました。

病害の発生状況は、県北を中心に雪腐病の発生が見られましたが、枯死に至る株は少なく、発生圃場率は平年より低くなりました。萎縮病類の発生圃場率は、平年よりも低かったものの、例年発生の見られる地域では、株全体が黄化している圃場もありました。赤さび病、うどんこ病の発生圃場率は平年よりも低くなりました。（平成23年度岩手県産小麦現地検討会資料、県病害虫防除所発行：病害虫発生現況情報、中央農業改良普及センターより）

被害概況

融雪後の異常低温・降雪・降雨が影響し、土壌湿潤害による生育不良が県内全域で発生したほか、6月上旬から中旬にかけて多照・高温・少雨の干害傾向が続いたことにより、粒の肥大が抑制されました。また、県北部で雪腐病や春期の異常低温が影響し、寒雪害による生育不良が発生、収穫期の降雨により県北の一部地域で雨害湿潤害が発生しました。特異的な被害として3月11日に発生した東日本大震災の大津波により、野田村の一部麦作付圃場が流失・埋没しました。災害名は、土壌・雨害湿潤害、干害、寒雪害、雪腐病、地震害でした。

3 引受状況

本県の23年産麦共済の引受状況は、実戸数427戸、引受面積約380,855.1a、補償金額である共済金額では780,179,238円でした。引受方式ごとの戸数、面積、共済金額は下記のとおりです。

表3 平成23年産 麦 方式別引受状況

方式 \ 項目	引受戸数 (戸)	引受面積 (a)	共済金額(円) (補償金額)
一筆方式	218	116,372.3	197,525,609
半相殺農家単位方式	28	10,364.5	12,744,147
災害収入共済方式	181	254,118.3	569,909,482
合計	427	380,855.1	780,179,238

* 麦の引受けは、同一農家で小麦と大麦を耕作している場合は1戸として実集計（実引受）しております。